

## (2) 今期の景況と来期の見通し

### 製 造 業

#### 業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 7.9$ で前期比6.4ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は5.5で6.5ポイント増と増加に転じ、収益は $\Delta 5.0$ で11.0ポイント増と大幅に減益幅が縮小し、受注残は1.8で1.2ポイント増と前期並の水準となった。来期の見通しについては、業況は今期同様の厳しさが続き、売上額、受注残はともに増加から減少に転じ、収益は減益幅がかなり拡大する見込み。

業種別でみると、業況は「電気機械器具」は大きく厳しさが和らぎ、「金属製品・建設用金属製品」は大幅に好調感が後退し、「一般機械器具・金型」はやや低調感が強まった。売上額は、「金属製品・建設用金属製品」はかなり増加幅が拡大し、「電気機械器具」はわずかに好調さを強め、「一般機械器具・金型」は大きく減少幅が縮小した。受注残は、「金属製品・建設用金属製品」は極端に増加幅が縮小し、「一般機械器具・金型」は大幅に減少幅が拡大し、「電気機械器具」は増加から減少に転じた。収益は、「金属製品・建設用金属製品」は増加に転じ、「電気機械器具」はかなり改善し、「一般機械器具・金型」は大幅に減益幅が拡大した。

#### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は15.8で4.6ポイント減とやや上昇傾向が弱まり、原材料価格は52.9で0.2ポイント減と前期並の上昇が続き、在庫は $\Delta 1.6$ で1.8ポイント増と適正水準となった。来期の見通しについては、販売価格は上昇傾向がわずかに弱まり、原材料価格は今期同様の上昇幅で推移し、在庫は不足となる見通し。

業種別でみると、販売価格は、「金属製品・建設用金属製品」は多少上昇傾向が強まり、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」はともに大幅に上昇幅が縮小した。原材料価格は、「一般機械器具・金型」はかなり上昇傾向が強まり、「金属製品・建設用金属製品」は幾分落ち着きを見せ、「電気機械器具」は大幅に上昇幅が縮小した。在庫は、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともに品薄に転じ、「一般機械器具・金型」は若干不足感が強まった。

#### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 13.4$ で6.8ポイント増とかなり窮屈感が緩和した。借入難易度は7.7で11.6ポイント増と好転した。借入をした企業は14.1%で1.8ポイント減少した。設備投資を実施した企業は10.9%で4.6ポイント増加した。来期の見通しについて、資金繰りは窮屈感がやや緩和し、借入をする企業は幾分減少し、設備投資を実施する企業は若干増加する見込み。

業種別でみると、資金繰りは、「金属製品・建設用金属製品」は容易となり、「一般機械器具・金型」は大幅に窮屈感が緩和し、「電気機械器具」は前期並の苦しさとなった。借入難易度は、「金属製品・建設用金属製品」「一般機械器具・金型」はともにかなり容易さが増し、「電気機械器具」は前期並の容易な状況となった。今期借入をした企業は、「電気機械器具」は大きく増加し、「一般機械器具・金型」は前期並となり、「金属製品・建設用金属製品」は大幅に減少した。設備投資を実施した企業は、「一般機械器具・金型」はかなり増加し、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともに前期並となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「原材料高」で56.3%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で42.2%、3位は「同業者間の競争の激化」で15.6%となった。以下、4位は「利幅の縮小」で14.1%、5位は「仕入先からの値上げ要請」で12.5%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で51.6%となった。次いで2位は「販路を広げる」で50.0%、3位は「人材を確保する」「情報力を強化する」でともに10.9%となった。以下、4位は「新製品・技術を開発する」で9.4%、5位は「提携先を見つける」で7.8%となった。

## 業種別動向

### (1) 金属製品、建設用金属製品

業況は8.2で前期比5.8ポイント減と大幅に好調感が後退した。売上額は21.4で9.2ポイント増とかなり増加幅が拡大し、収益は4.2で9.1ポイント増と増加に転じ、受注残は6.5で23.2ポイント減と極端に増加幅が縮小した。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、売上額、収益は改善し、業況、受注残は悪化した。価格動向については、販売価格は20.9で2.7ポイント増と多少上昇傾向が強まり、原材料価格は65.2で2.1ポイント減と幾分落ち着きを見せた。在庫は△5.7で8.9ポイント減と品薄に転じた。資金繰りは2.7で26.2ポイント増と容易となり、借入難易度は11.1で11.1ポイント増とかなり容易さが増した。借入をした企業は11.1%で11.1ポイント減少し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は11.1%で前期並となった。

来期の見通しについては、業況は悪化に転じる見込み。売上額、受注残、収益はいずれも増加から減少・減益に転じる見通し。価格動向については、販売価格、原材料価格はともに上昇傾向が大きく弱まるとみられる。在庫は不足感がやや強まり、資金繰りは今期同様変わらず推移し、設備投資を実施する企業は今期並となる見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で66.7%、2位は「工場・機械の狭小・老朽化」で33.3%、3位は「売上の停滞・減少」「同業者間の競争の激化」でともに22.2%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で55.6%、2位は「情報力を強化する」「提携先を見つける」「人材を確保する」でいずれも22.2%、3位は「経費を節減する」「新製品・技術を開発する」「不採算部門を整理・縮小する」「労働条件を改善する」「工場・機械を増設・移転する」「不動産の有効活用を図る」でいずれも11.1%となった。

### (2) 一般機械器具、金型

業況は△11.3で前期比2.6ポイント減とやや低調感が強まった。売上額は△3.6で8.1ポイント増と大きく減少幅が縮小し、収益は△23.2で10.8ポイント減、受注残は△15.6で9.6ポイント減とともに大幅に減益・減少幅が拡大した。今期の「一般機械器具、金型」は、売上額は改善し、業況、収益、受注残はいずれも悪化した。価格動向については、販売価格は20.6で6.8ポイント減と大幅に上昇幅が縮小し、原材料価格は49.6で11.8ポイント増とかなり上昇傾向が強まった。在庫は△10.7で3.7ポイント減と若干不足感が強まった。資金繰りは△7.3で8.5ポイント増と大幅に窮屈感が緩和し、借入難易度は25.0で10.7ポイント増とかなり容易さが増した。借入をした企業は9.1%で前期並となり、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は18.2%で18.2ポイント増加した。

来期の見通しについては、業況は低調感が極端に強まる見込み。収益は減益幅が大きく拡大し、売上額、受注残はともに非常に低迷する見通し。販売価格は上昇傾向が大幅に弱まり、原材料価格は今期同様の上昇が続くとみられる。在庫は不足感がかなり強まり、資金繰りは窮屈感がやや強まり、設備投資を実施する企

業は大きく減少する見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で54.5%、2位は「原材料高」で45.5%、3位は「仕入先からの値上げ要請」で27.3%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で72.7%、2位は「経費を節減する」で45.5%、3位は「新製品・技術を開発する」で18.2%となった。

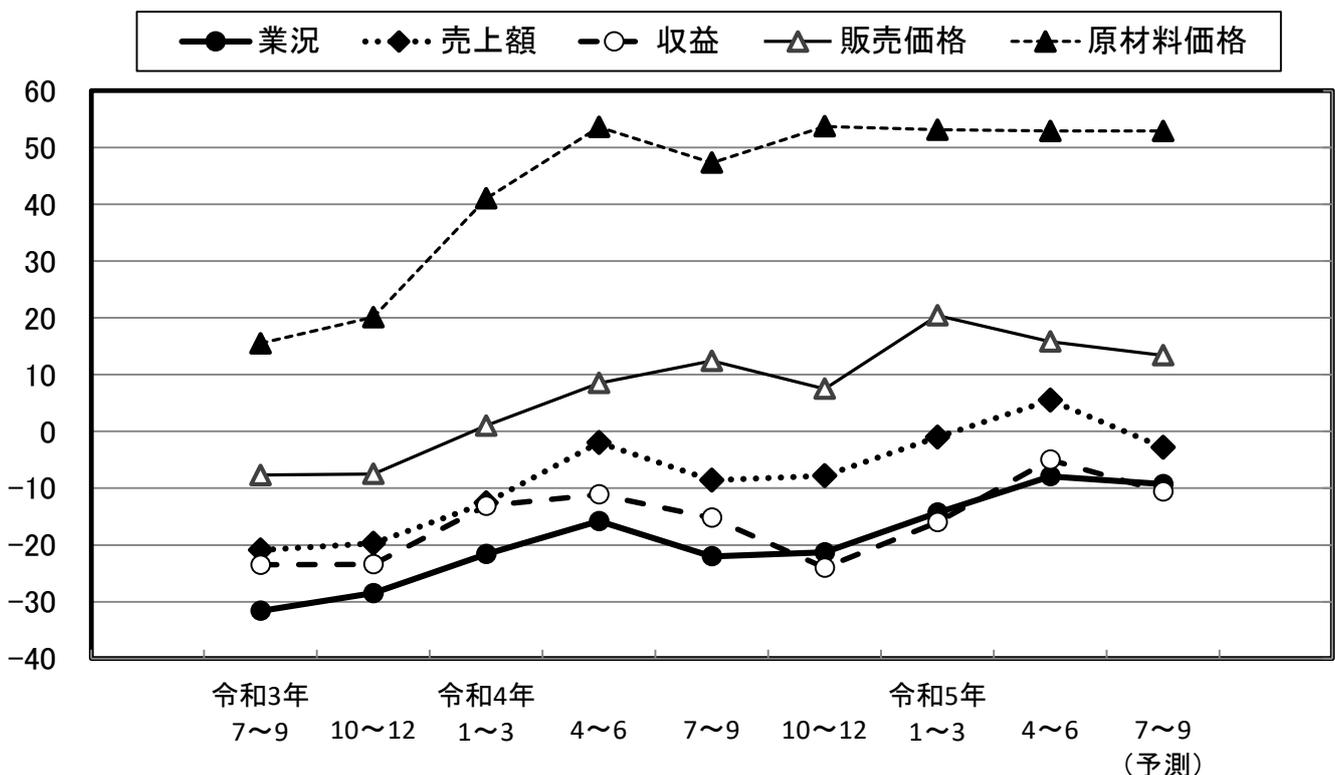
### (3)電気機械器具

業況は△19.0で前期比9.0ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は21.4で3.3ポイント増とわずかに好調さを強め、収益は△11.9で6.1ポイント増とかなり改善し、受注残は△0.3で13.6ポイント減と増加から減少に転じた。今期の「電気機械器具」は、業況、売上額、収益はいずれも改善し、受注残は悪化した。価格動向については、販売価格は33.7で9.8ポイント減、原材料価格は73.4で6.5ポイント減とともに大幅に上昇幅が縮小した。在庫は△6.6で7.5ポイント減と品薄に転じた。資金繰りは△30.5で0.4ポイント増と前期並の苦しさとなり、借入難易度は11.1と前期並の容易な状況となった。借入をした企業は30.0%で20.0ポイント増加し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は10.0%で前期並となった。

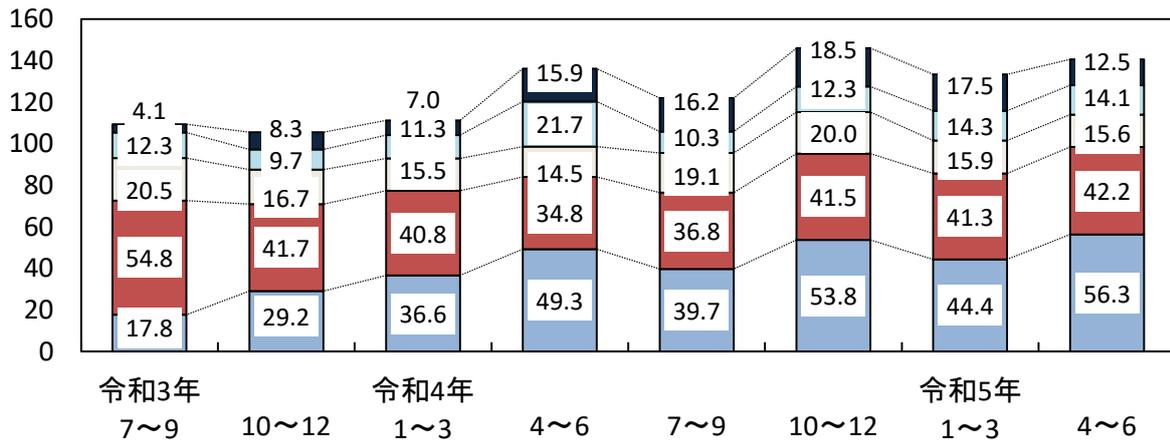
来期の見通しについては、業況は厳しさがやや和らぐ見込み。売上額は今期同様の増加が続き、収益は増加に転じ、受注残は減少幅がわずかに拡大する見通し。販売価格、原材料価格はともに今期同様の上昇が続くとみられる。在庫は今期同様の不足感が続き、資金繰りは窮屈感が多少緩和し、設備投資を実施する企業は今期同様変わらない見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で60.0%、2位は「売上の停滞・減少」で50.0%、3位は「利幅の縮小」で40.0%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で80.0%、2位は「人材を確保する」で20.0%、3位は「販路を広げる」「情報力を強化する」「新製品・技術を開発する」でいずれも10.0%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



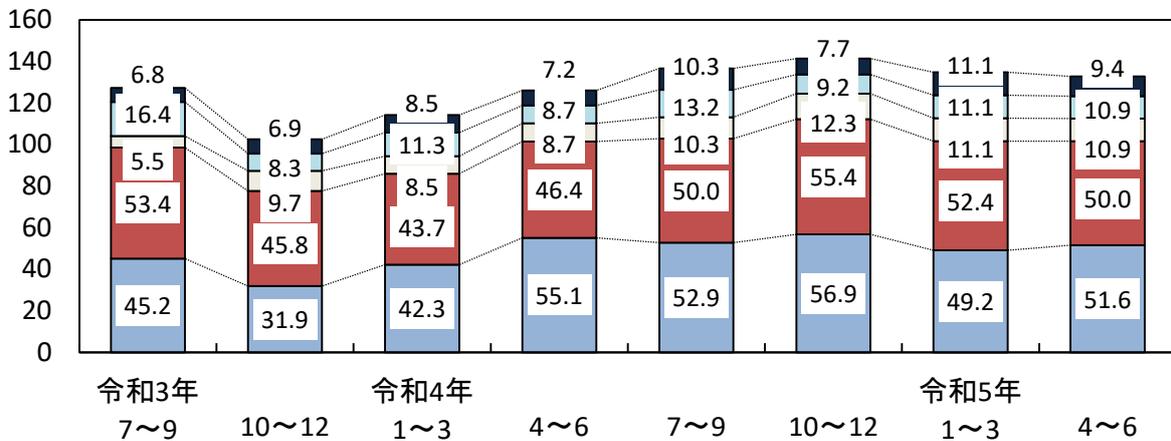
## 製造業 経営上の問題点（％）



■ 原材料高 ■ 売上の停滞・減少 □ 同業者間の競争の激化 □ 利幅の縮小 ■ 仕入先からの値上げ要請

	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期
第1位	原材料高 39.7 %	原材料高 53.8 %	原材料高 44.4 %	原材料高 56.3 %
第2位	売上の停滞・減少 36.8 %	売上の停滞・減少 41.5 %	売上の停滞・減少 41.3 %	売上の停滞・減少 42.2 %
第3位	同業者間の競争の激化 19.1 %	同業者間の競争の激化 20.0 %	仕入先からの値上げ要請 17.5 %	同業者間の競争の激化 15.6 %
第4位	仕入先からの値上げ要請 16.2 %	仕入先からの値上げ要請 18.5 %	同業者間の競争の激化 15.9 %	利幅の縮小 14.1 %
第5位	利幅の縮小 10.3 %	利幅の縮小 12.3 %	利幅の縮小 14.3 %	仕入先からの値上げ要請 12.5 %

## 製造業 重点経営施策（％）



■ 経費を節減する ■ 販路を広げる □ 人材を確保する □ 情報力を強化する ■ 新製品・技術を開発する

	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期
第1位	経費を節減する 52.9 %	経費を節減する 56.9 %	販路を広げる 52.4 %	経費を節減する 51.6 %
第2位	販路を広げる 50.0 %	販路を広げる 55.4 %	経費を節減する 49.2 %	販路を広げる 50.0 %
第3位	情報力を強化する 13.2 %	人材を確保する 12.3 %	人材を確保する 11.1 %	人材を確保する 10.9 %
			新製品・技術を開発する 11.1 %	情報力を強化する 10.9 %
			情報力を強化する 11.1 %	
第4位	人材を確保する 10.3 %	情報力を強化する 9.2 %	不採算部門を整理・縮小する 6.3 %	新製品・技術を開発する 9.4 %
	新製品・技術を開発する 10.3 %			
第5位	教育訓練を強化する 4.4 %	新製品・技術を開発する 7.7 %	不動産の有効活用を図る 4.8 %	提携先を見つける 7.8 %

# 卸 売 業

## 業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 19.8$ で前期比 28.1 ポイント増と極端に厳しさが和らいだ。売上額は 6.8 で 49.5 ポイント増と増加に転じ、収益は $\Delta 10.2$ で 22.1 ポイント増と特に大きく改善した。来期の見通しについては、業況はかなり上向き、売上額は大幅に好調さを強め、収益は今期同様の減益が続く見込み。

## 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は 40.8 で 0.8 ポイント増と前期並の上昇が続き、仕入価格は 74.4 で 8.2 ポイント増と大きく上昇傾向が強まった。在庫は 10.6 で 2.5 ポイント増とわずかに過剰感が強まった。来期の見通しについては、販売価格は上昇傾向が多少弱まり、仕入価格はかなり上昇幅が縮小する見込み。在庫は過剰感が幾分改善する見込み。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

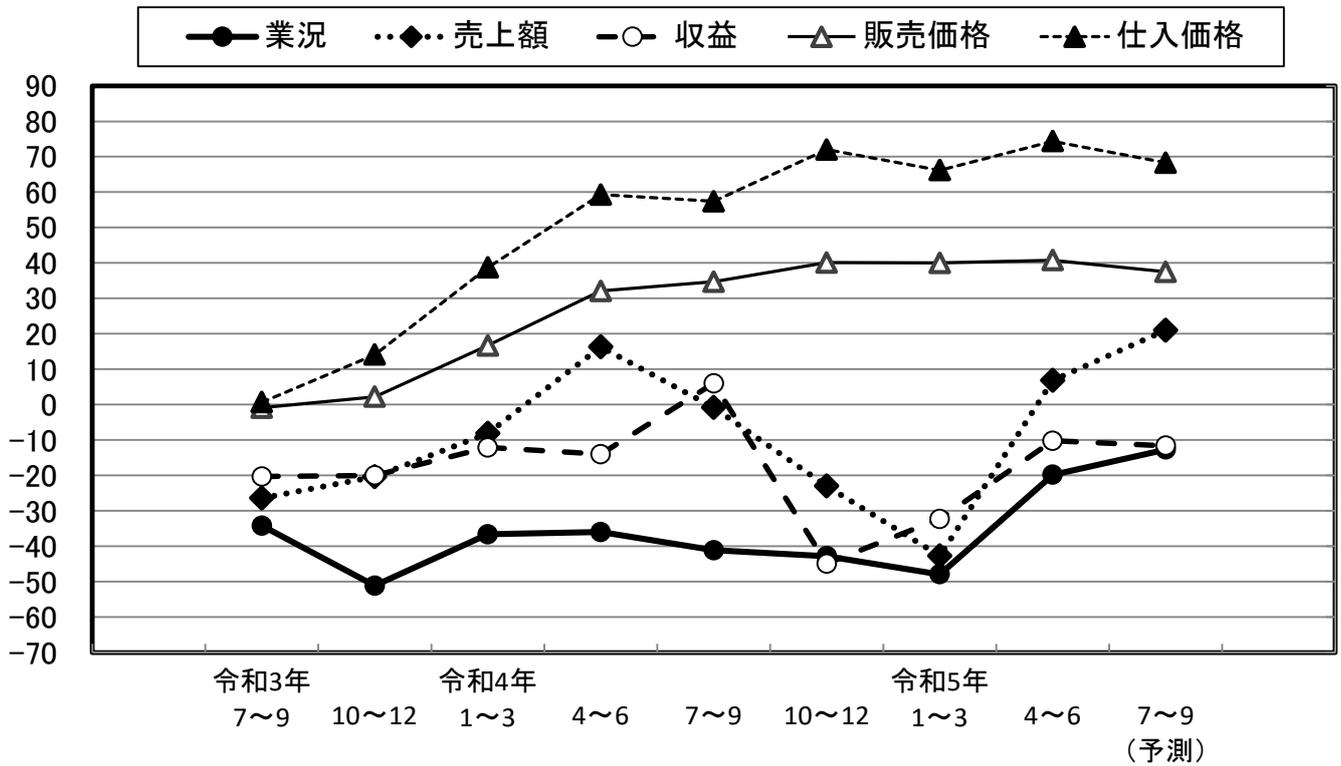
資金繰りは $\Delta 16.8$ で 4.2 ポイント減とやや窮屈感が強まり、借入難易度は $\Delta 5.3$ で 16.4 ポイント減と厳しい状況に転じた。借入をした企業は 19.0%で 9.0 ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 4.8%で 5.2 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の苦しさで推移し、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業は若干減少する見込み。

## 経営上の問題点・重点経営施策

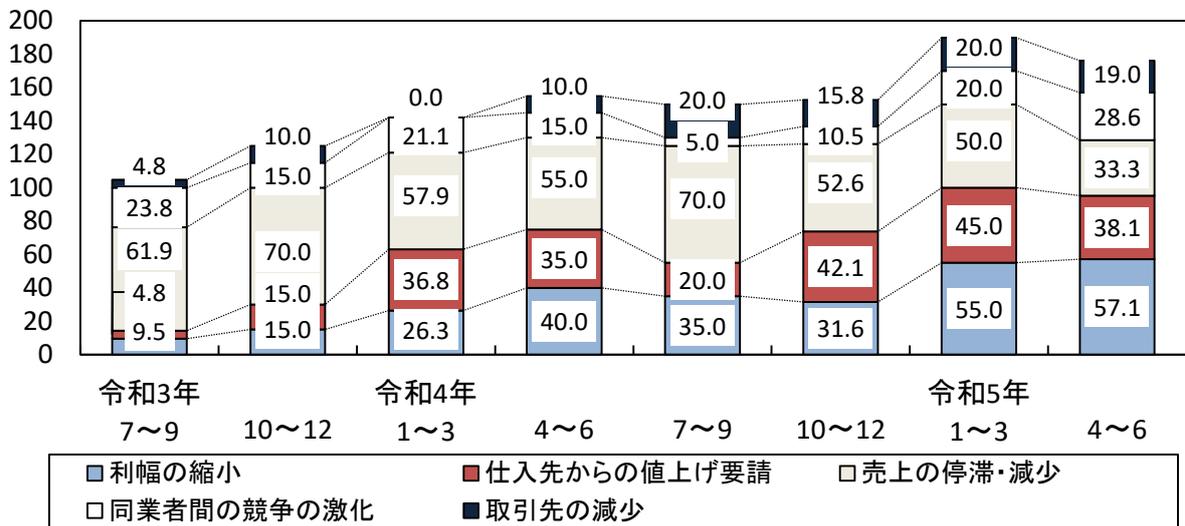
経営上の問題点は、1位は「利幅の縮小」で 57.1%となった。次いで2位は「仕入先からの値上げ要請」で 38.1%、3位は「売上の停滞・減少」で 33.3%となった。以下、4位は「同業者間の競争の激化」で 28.6%、5位は「取引先の減少」で 19.0%となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」「販路を広げる」でともに 57.1%となった。次いで2位は「品揃えを充実する」で 23.8%、3位は「人材を確保する」で 14.3%となった。以下、4位は「流通経路の見直しをする」「情報力を強化する」「新しい事業を始める」「パート化を図る」でいずれも 9.5%、5位は「提携先を見つける」「不動産の有効活用を図る」でともに 4.8%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

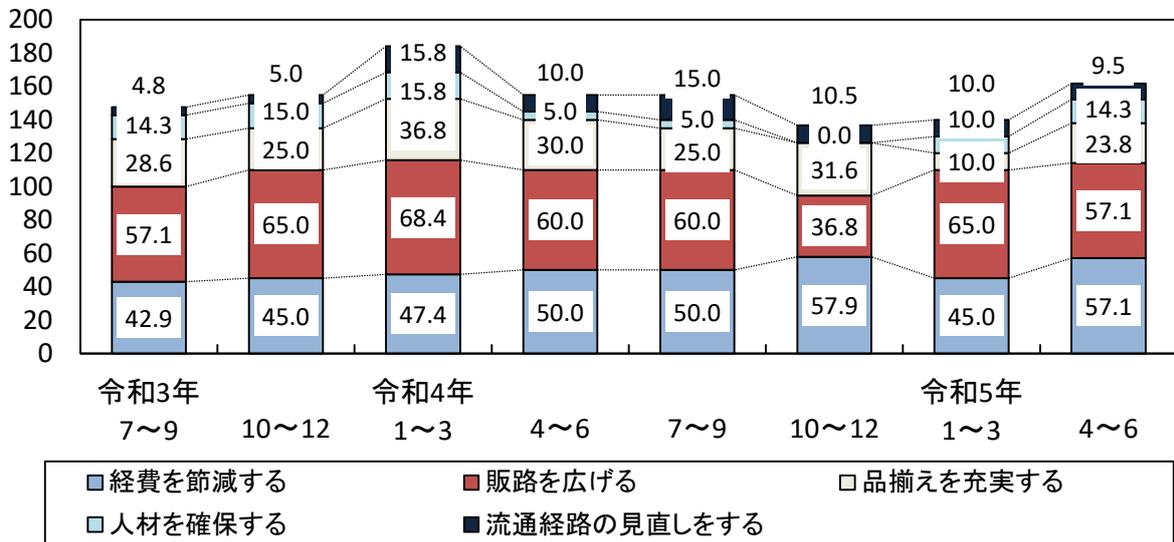


卸売業 経営上の問題点 (%)



	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期
第1位	売上の停滞・減少 70.0 %	売上の停滞・減少 52.6 %	利幅の縮小 55.0 %	利幅の縮小 57.1 %
第2位	利幅の縮小 35.0 %	仕入先からの値上げ要請 42.1 %	売上の停滞・減少 50.0 %	仕入先からの値上げ要請 38.1 %
第3位	取引先の減少 20.0 % 仕入先からの値上げ要請 20.0 %	利幅の縮小 31.6 %	仕入先からの値上げ要請 45.0 %	売上の停滞・減少 33.3 %
第4位	輸入品との競争の激化 10.0 % 人手不足 10.0 %	取引先の減少 15.8 %	取引先の減少 20.0 % 同業者間の競争の激化 20.0 %	同業者間の競争の激化 28.6 %
第5位	同業者間の競争の激化 5.0 % 合理化の不足 5.0 % 小口注文・多頻度配送の増加 5.0 % 取扱商品の陳腐化 5.0 % 販売商品の不足 5.0 % 販売納入先からの値下げ要請 5.0 % 天候の不順 5.0 % 為替レートの変動 5.0 %	為替レートの変動 10.5 % 同業者間の競争の激化 10.5 %	人手不足 10.0 % 取扱商品の陳腐化 10.0 %	取引先の減少 19.0 %

### 卸売業 重点経営施策（％）



	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期
第1位	販路を広げる 60.0 %	経費を節減する 57.9 %	販路を広げる 65.0 %	経費を節減する 57.1 % 販路を広げる 57.1 %
第2位	経費を節減する 50.0 %	販路を広げる 36.8 %	経費を節減する 45.0 %	品揃えを充実する 23.8 %
第3位	品揃えを充実する 25.0 %	品揃えを充実する 31.6 %	不動産の有効活用を図る 15.0 %	人材を確保する 14.3 %
第4位	流通経路の見直しをする 15.0 % 情報力を強化する 15.0 %	流通経路の見直しをする 10.5 % 新しい事業を始める 10.5 %	流通経路の見直しをする 10.0 % 人材を確保する 10.0 % 品揃えを充実する 10.0 % 情報力を強化する 10.0 %	流通経路の見直しをする 9.5 % 情報力を強化する 9.5 % 新しい事業を始める 9.5 % パート化を図る 9.5 %
第5位	新しい事業を始める 5.0 % 機械化を推進する 5.0 % 人材を確保する 5.0 % パート化を図る 5.0 % 教育訓練を強化する 5.0 % 労働条件を改善する 5.0 % 不動産の有効活用を図る 5.0 %	情報力を強化する 5.3 % 提携先を見つける 5.3 % 機械化を推進する 5.3 %	新しい事業を始める 5.0 %	提携先を見つける 4.8 % 不動産の有効活用を図る 4.8 %

## 小 売 業

### 業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は0.5で前期比10.2ポイント増と好転した。売上額は5.3で2.3ポイント増とわずかに増加幅が拡大し、収益は△9.6で8.0ポイント減と大きく低迷した。来期の見通しについては、業況は悪化に転じ、売上額は増加から減少に転じ、収益は減益幅が大きく拡大する見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は28.4で12.3ポイント増と大幅に上昇傾向が強まり、仕入価格は41.4で2.7ポイント増とやや上昇幅が拡大した。在庫は1.4で3.0ポイント増と適正水準が続いた。来期の見通しについては、販売価格、仕入価格はともに上昇傾向がかなり弱まり、在庫は過剰となる見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

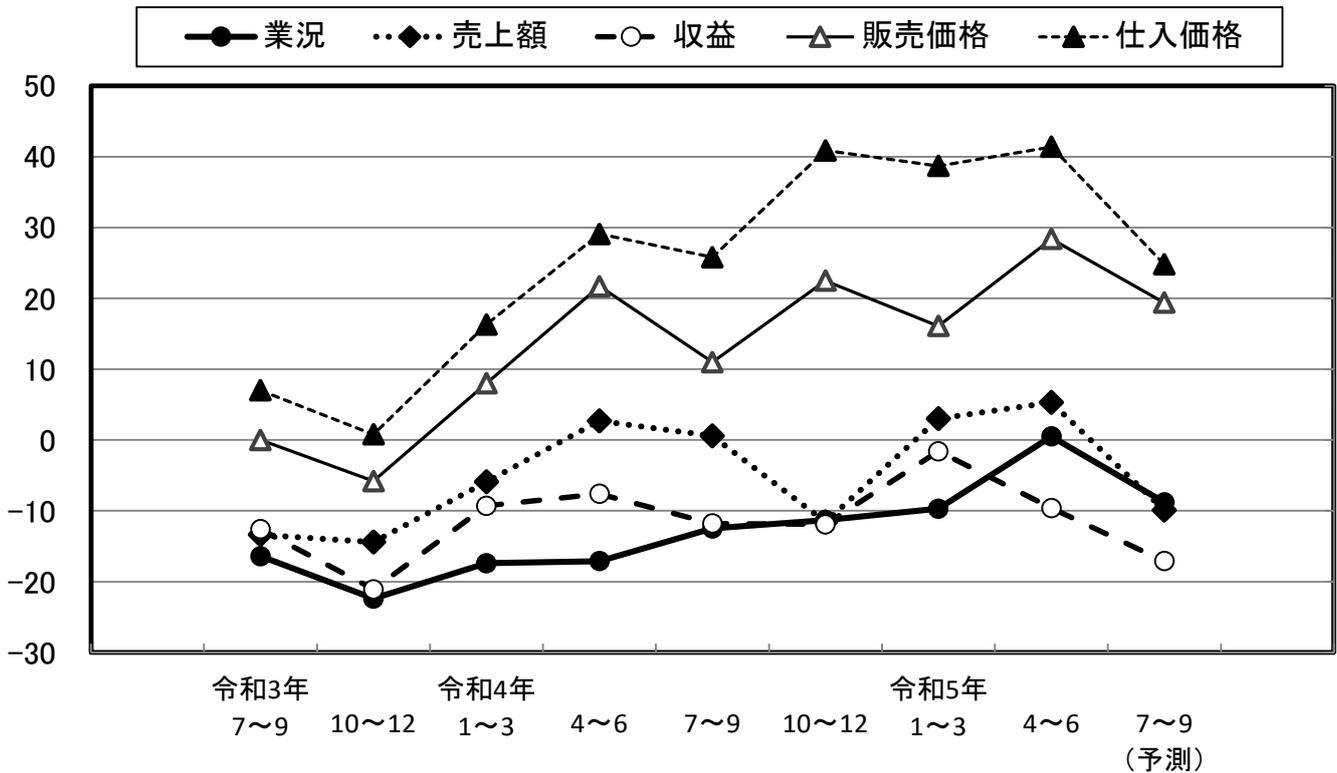
資金繰りは△0.3で1.9ポイント増と多少窮屈感が緩和した。借入難易度は13.0で5.0ポイント増とわずかに容易さが増し、借入をした企業は22.6%で0.7ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は6.5%で3.3ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様変わらず推移し、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業は多少増加する見込み。

### 経営上の問題点・重点経営施策

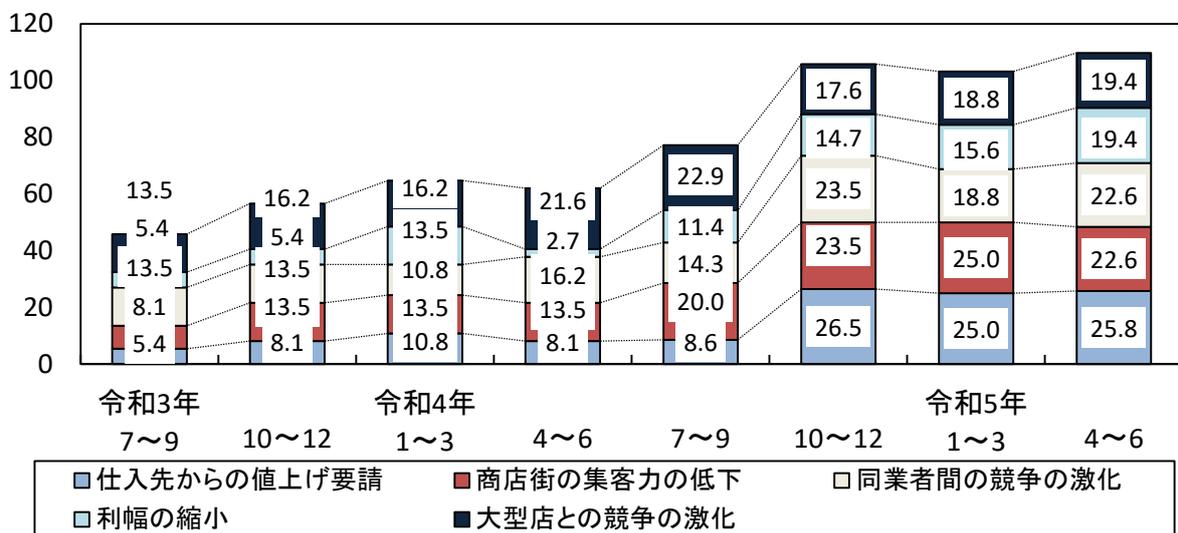
経営上の問題点については、1位は「仕入先からの値上げ要請」で25.8%となった。次いで2位は「商店街の集客力の低下」「同業者間の競争の激化」でともに22.6%、3位は「利幅の縮小」「大型店との競争の激化」「売上の停滞・減少」でいずれも19.4%となった。以下、4位は「人手不足」「商圈人口の減少」「店舗の狭小・老朽化」「天候の不順」でいずれも9.7%、5位は「取扱商品の陳腐化」で6.5%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で45.2%となった。次いで2位は「宣伝・広告を強化する」で32.3%、3位は「売れ筋商品を取り扱う」「品揃えを改善する」でともに25.8%となった。以下、4位は「商店街事業を活性化させる」で16.1%、5位は「店舗・設備を改装する」「人材を確保する」でともに9.7%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

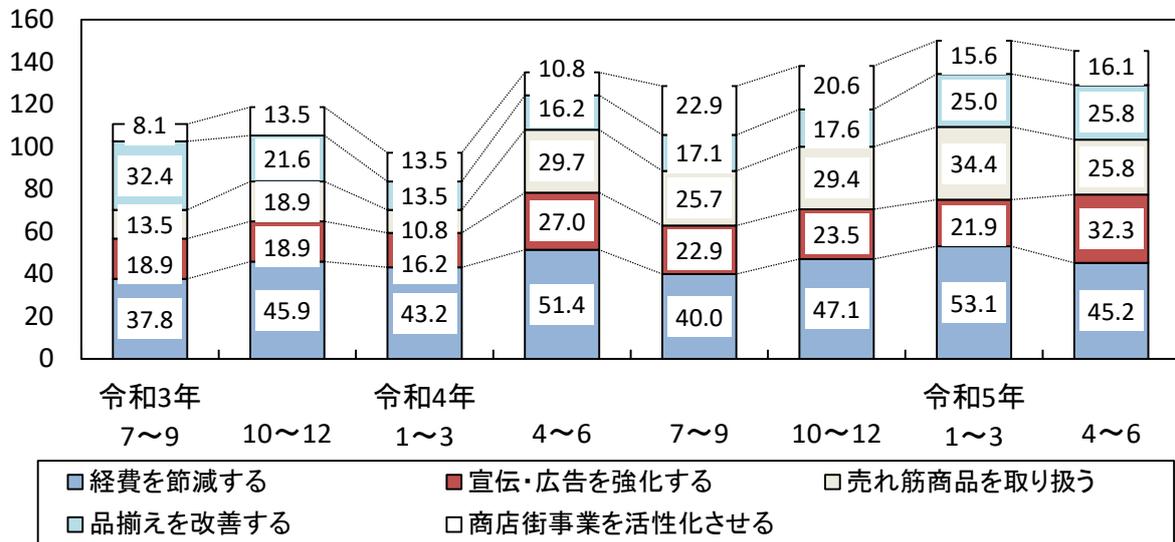


小売業 経営上の問題点 (%)



	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期
第1位	売上の停滞・減少 37.1 %	売上の停滞・減少 35.3 %	商店街の集客力の低下 25.0 % 仕入先からの値上げ要請 25.0 % 売上の停滞・減少 25.0 %	仕入先からの値上げ要請 25.8 %
第2位	大型店との競争の激化 22.9 %	仕入先からの値上げ要請 26.5 %	大型店との競争の激化 18.8 % 同業者間の競争の激化 18.8 %	商店街の集客力の低下 22.6 % 同業者間の競争の激化 22.6 %
第3位	商店街の集客力の低下 20.0 %	商店街の集客力の低下 23.5 % 同業者間の競争の激化 23.5 %	利幅の縮小 15.6 %	利幅の縮小 19.4 % 大型店との競争の激化 19.4 % 売上の停滞・減少 19.4 %
第4位	同業者間の競争の激化 14.3 %	大型店との競争の激化 17.6 %	人手不足 12.5 % 取引先の減少 12.5 % 商圈人口の減少 12.5 %	人手不足 9.7 % 商圈人口の減少 9.7 % 店舗の狭小・老朽化 9.7 % 天候の不順 9.7 %
第5位	利幅の縮小 11.4 %	利幅の縮小 14.7 % 取引先の減少 14.7 %	店舗の狭小・老朽化 9.4 %	取扱商品の陳腐化 6.5 %

### 小売業 重点経営施策（％）



	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期
第1位	経費を節減する 40.0 %	経費を節減する 47.1 %	経費を節減する 53.1 %	経費を節減する 45.2 %
第2位	売れ筋商品を取り扱う 25.7 %	売れ筋商品を取り扱う 29.4 %	売れ筋商品を取り扱う 34.4 %	宣伝・広告を強化する 32.3 %
第3位	商店街事業を活性化させる 22.9 % 宣伝・広告を強化する 22.9 %	宣伝・広告を強化する 23.5 %	品揃えを改善する 25.0 %	売れ筋商品を取り扱う 25.8 % 品揃えを改善する 25.8 %
第4位	品揃えを改善する 17.1 %	商店街事業を活性化させる 20.6 %	宣伝・広告を強化する 21.9 %	商店街事業を活性化させる 16.1 %
第5位	仕入先を開拓・選別する 8.6 % 人材を確保する 8.6 %	品揃えを改善する 17.6 %	商店街事業を活性化させる 15.6 %	店舗・設備を改装する 9.7 % 人材を確保する 9.7 %

## サービス業

### 業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は $\Delta 17.6$ で前期比 10.5 ポイント増とかなり厳しさが和らいだ。売上額は 0.5 で 15.5 ポイント増と増加に転じ、収益は $\Delta 9.1$ で 10.7 ポイント増と大幅に減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は厳しさが幾分和らぎ、売上額は今期同様の水準で推移し、収益は減益幅がやや拡大する見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は 16.3 で 11.6 ポイント増、材料価格は 45.8 で 8.5 ポイント増とともに大きく上昇傾向が強まった。来期の見通しについては、料金価格は上昇幅がやや縮小し、材料価格は上昇傾向が大幅に弱まる見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

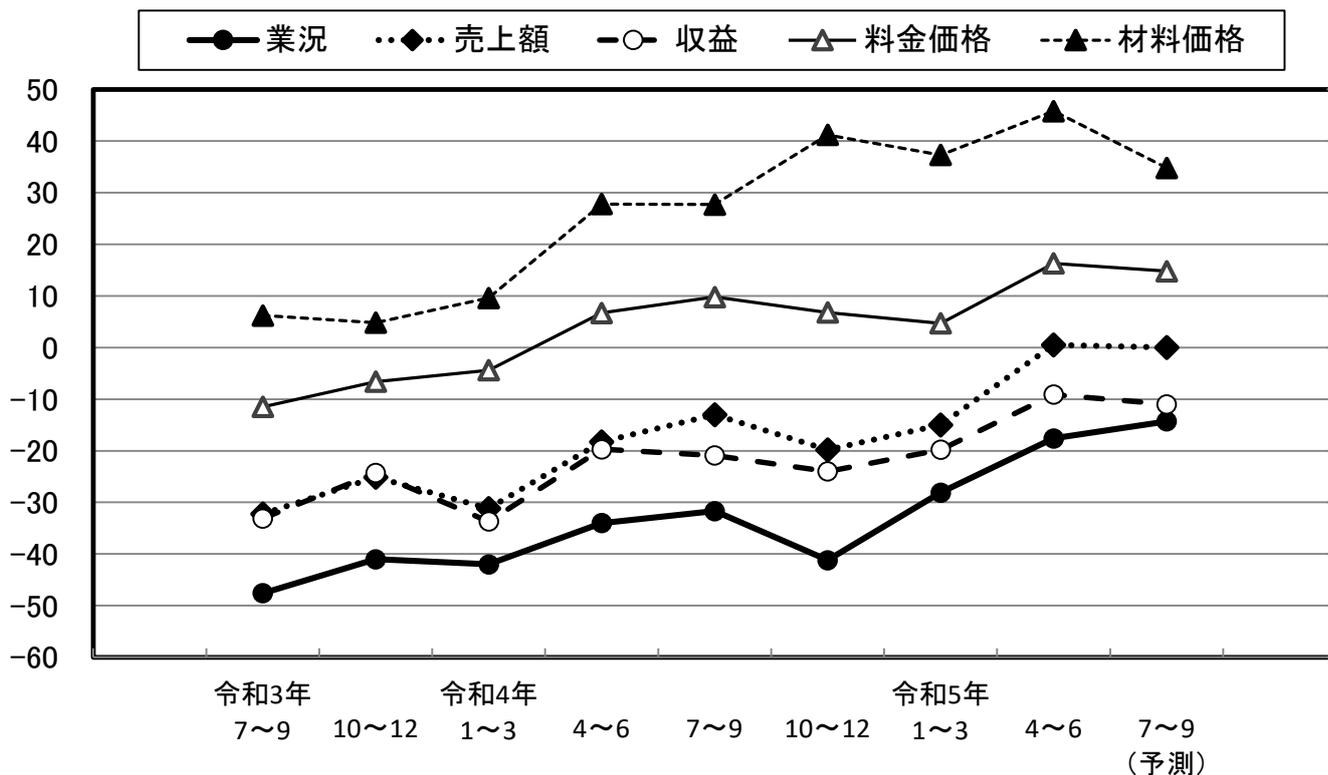
資金繰りは、 $\Delta 12.7$ で 1.4 ポイント減と前期同様の厳しさとなり、借入難易度は 0.0 で 3.0 ポイント減とわずかに容易さが縮小した。借入をした企業は 6.8%で 2.3 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 11.4%で 4.4 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感が多少緩和し、借入をする企業は幾分増加し、設備投資を実施する企業は今期同様変わらない見通し。

### 経営上の問題点・重点経営施策

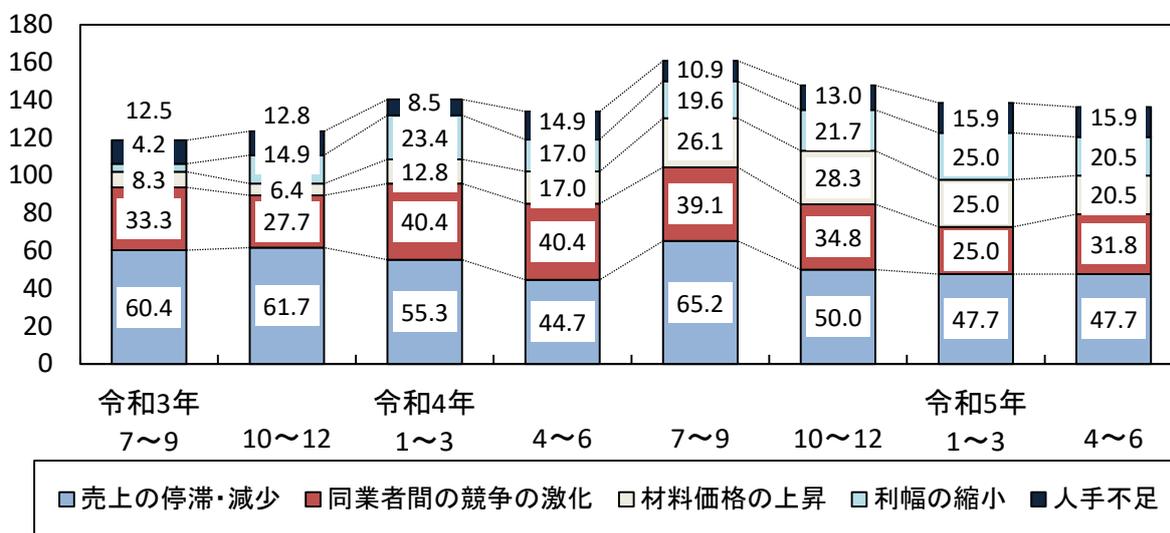
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」で 47.7%となった。次いで 2 位は「同業者間の競争の激化」で 31.8%、3 位は「材料価格の上昇」「利幅の縮小」でともに 20.5%となった。以下、4 位は「人手不足」で 15.9%、5 位は「人件費の増加」「取引先の減少」でともに 11.4%となった。

重点経営施策では、1 位は「販路を広げる」で 50.0%となった。次いで 2 位は「経費を節減する」で 38.6%、3 位は「人材を確保する」で 15.9%となった。以下、4 位は「宣伝・広告を強化する」で 13.6%、5 位は「労働条件を改善する」「新しい事業を始める」「提携先を見つける」でいずれも 9.1%となった。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

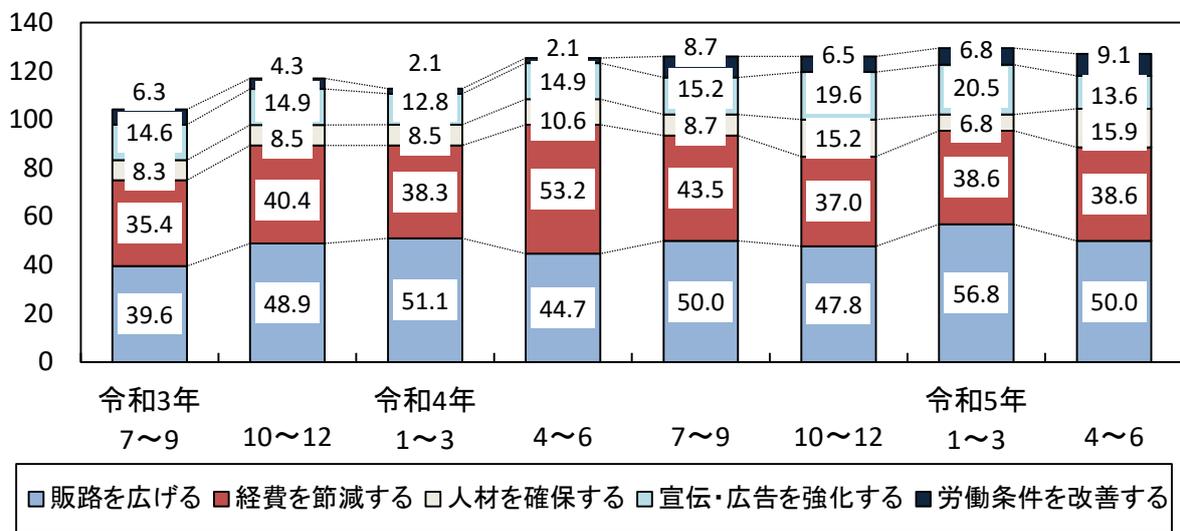


サービス業 経営上の問題点（%）



	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期
第1位	売上の停滞・減少 65.2 %	売上の停滞・減少 50.0 %	売上の停滞・減少 47.7 %	売上の停滞・減少 47.7 %
第2位	同業者間の競争の激化 39.1 %	同業者間の競争の激化 34.8 %	材料価格の上昇 25.0 % 利幅の縮小 25.0 % 同業者間の競争の激化 25.0 %	同業者間の競争の激化 31.8 %
第3位	材料価格の上昇 26.1 %	材料価格の上昇 28.3 %	人手不足 15.9 %	材料価格の上昇 20.5 % 利幅の縮小 20.5 %
第4位	利幅の縮小 19.6 %	利幅の縮小 21.7 %	大企業との競争の激化 9.1 %	人手不足 15.9 %
第5位	人件費の増加 13.0 %	人手不足 13.0 %	人件費の増加 6.8 % 取引先の減少 6.8 % 商圏人口の減少 6.8 %	人件費の増加 11.4 % 取引先の減少 11.4 %

### サービス業 重点経営施策（％）



	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期
第1位	販路を広げる 50.0 %	販路を広げる 47.8 %	販路を広げる 56.8 %	販路を広げる 50.0 %
第2位	経費を節減する 43.5 %	経費を節減する 37.0 %	経費を節減する 38.6 %	経費を節減する 38.6 %
第3位	宣伝・広告を強化する 15.2 %	宣伝・広告を強化する 19.6 %	宣伝・広告を強化する 20.5 %	人材を確保する 15.9 %
第4位	教育訓練を強化する 13.0 % 提携先を見つける 13.0 %	教育訓練を強化する 15.2 % 人材を確保する 15.2 % 技術力を強化する 15.2 %	提携先を見つける 15.9 %	宣伝・広告を強化する 13.6 %
第5位	技術力を強化する 10.9 %	提携先を見つける 8.7 %	技術力を強化する 11.4 %	労働条件を改善する 9.1 % 新しい事業を始める 9.1 % 提携先を見つける 9.1 %

## 建設業

### 業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は 15.3 で前期比 22.1 ポイント増と好転した。売上額は 11.3 で 10.8 ポイント増とかなり増加幅が拡大し、施工高は 26.3 で 3.0 ポイント増とやや増加幅が拡大し、受注残は 17.6 で 20.8 ポイント増と増加に転じ、収益は△1.1 で 5.7 ポイント増と大きく減益幅が縮小した。来期の見通しについて、業況は好調感が大幅に後退する見込み。受注残、施工高はともに増加幅が大きく縮小し、収益は減益幅がかなり拡大し、売上額は増加から減少に転じる見通し。

### 価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は 35.9 で 11.8 ポイント増、材料価格は 66.3 で 7.6 ポイント増とともに大幅に上昇傾向が強まった。在庫は△7.9 で 5.3 ポイント減とわずかに不足感が強まった。来期の見通しについては、請負価格、材料価格はともに上昇傾向がかなり弱まり、在庫は不足感が大きく強まる見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

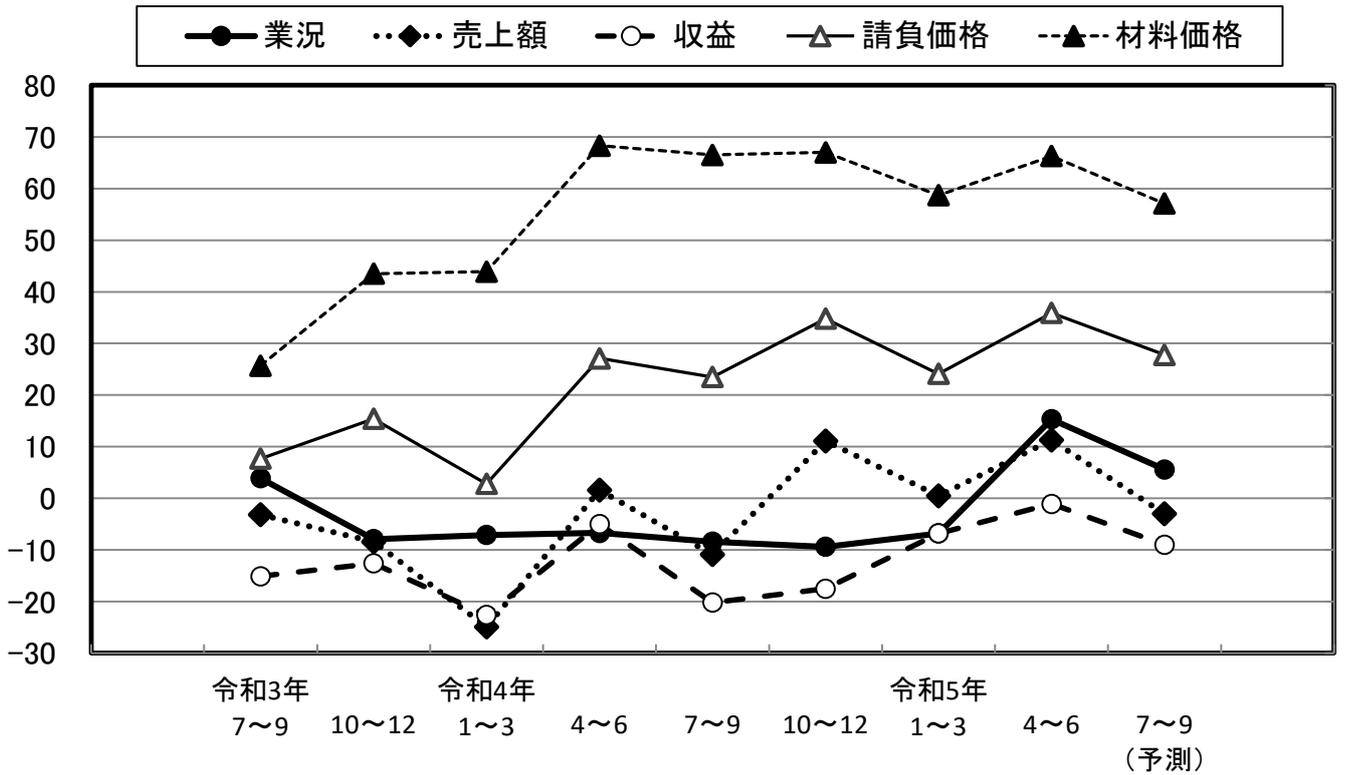
資金繰りは 6.4 で 9.4 ポイント増と容易となり、借入難易度は 4.0 で 12.0 ポイント増と好転した。借入をした企業は 13.3% で 9.3 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 20.0% で 7.1 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは容易さが多少縮小し、借入をする企業は幾分減少し、設備投資を実施する企業は今期同様で推移する見通し。

### 経営上の問題点・重点経営施策

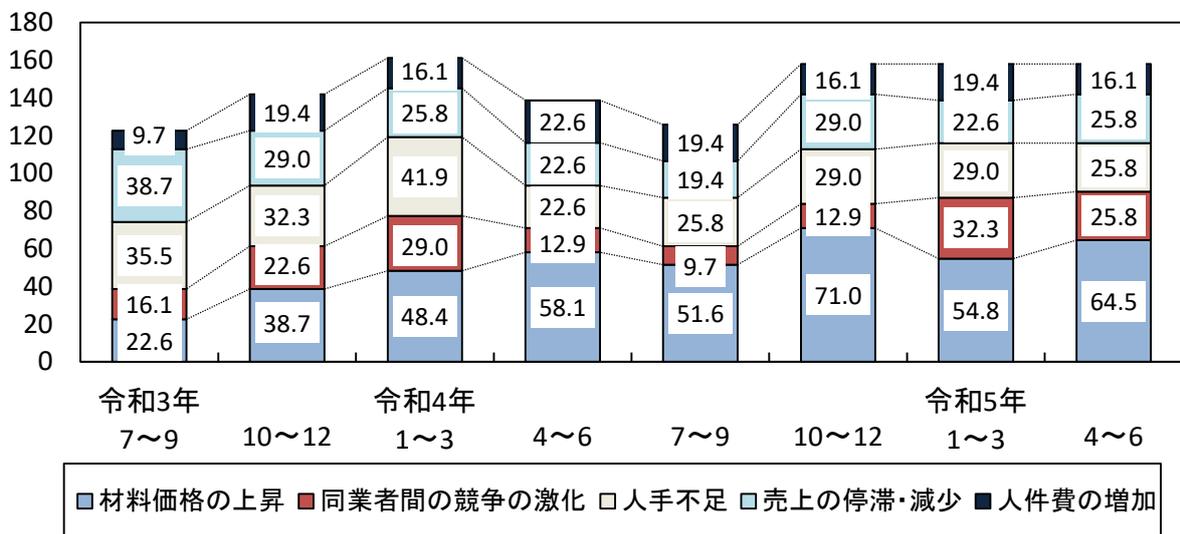
経営上の問題点は、1位は「材料価格の上昇」で 64.5% となった。次いで 2位は「同業者間の競争の激化」「人手不足」「売上の停滞・減少」でいずれも 25.8%、3位は「人件費の増加」で 16.1% となった。以下、4位は「利幅の縮小」で 12.9%、5位は「大手企業との競争の激化」「下請の確保難」でともに 9.7% と続いた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」で 45.2% となった。次いで 2位は「人材を確保する」「販路を広げる」でともに 35.5%、3位は「技術力を高める」で 25.8% となった。以下、4位は「情報力を強化する」で 12.9%、5位は「教育訓練を強化する」で 9.7% と続いた。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

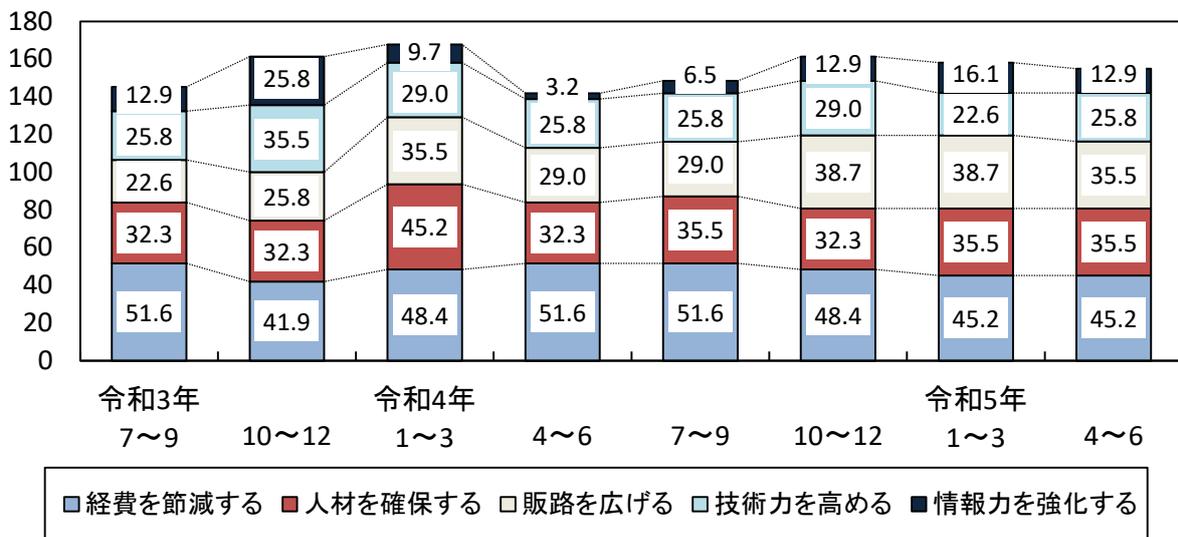


建設業 経営上の問題点（%）



	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期
第1位	材料価格の上昇 51.6 %	材料価格の上昇 71.0 %	材料価格の上昇 54.8 %	材料価格の上昇 64.5 %
第2位	人手不足 25.8 %	人手不足 29.0 % 売上の停滞・減少 29.0 %	同業者間の競争の激化 32.3 %	同業者間の競争の激化 25.8 % 人手不足 25.8 % 売上の停滞・減少 25.8 %
第3位	利幅の縮小 22.6 %	利幅の縮小 19.4 %	人手不足 29.0 %	人件費の増加 16.1 %
第4位	人件費の増加 19.4 % 売上の停滞・減少 19.4 %	人件費の増加 16.1 %	売上の停滞・減少 22.6 %	利幅の縮小 12.9 %
第5位	大手企業との競争の激化 12.9 %	同業者間の競争の激化 12.9 %	人件費の増加 19.4 %	大手企業との競争の激化 9.7 % 下請の確保難 9.7 %

### 建設業 重点経営施策（％）



	令和4年7月～9月期	令和4年10月～12月期	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期
第1位	経費を節減する 51.6 %	経費を節減する 48.4 %	経費を節減する 45.2 %	経費を節減する 45.2 %
第2位	人材を確保する 35.5 %	販路を広げる 38.7 %	販路を広げる 38.7 %	人材を確保する 35.5 % 販路を広げる 35.5 %
第3位	販路を広げる 29.0 %	人材を確保する 32.3 %	人材を確保する 35.5 %	技術力を高める 25.8 %
第4位	技術力を高める 25.8 %	技術力を高める 29.0 %	技術力を高める 22.6 %	情報力を強化する 12.9 %
第5位	教育訓練を強化する 9.7 %	情報力を強化する 12.9 %	情報力を強化する 16.1 %	教育訓練を強化する 9.7 %